

南風たより

～みなみかぜたより～

～第四回 南部病院健康講座と ミニコンサート開催～

平成29年7月1日午後3時30分より外来待合室にて今年で4回目になる健康講座とミニコンサートを開催いたしました。

今年の健康講座は、循環器内科の長友美達先生による“気になる心臓病と治療”というタイトルで心臓疾患と検査や治療についてわかりやすく講演いただきました。

日本人の死因の一位はがんですが二位はここ数年心疾患となっているそうです。特に糖尿病や高脂血症などの内科疾患のある方は、粥状硬化（じゅくじょうこうか）を招き心筋の虚血を引き起こすことから注意していく必要があるとのことでした。

長友先生からは心疾患の症状から診断に至るまでのプロセスをわかりやすく説明していただき、現在行われている治療方法についても詳しくお話し頂きました。

心臓は一生に約30億回動くそうです。”心臓は働き者だよ”と長友先生が話される姿に循環器内科への思いが感じられました。



続けてミニコンサートを開催いたしました。間を田中先生のお話で繋いで頂き準備を行いました。

まずは宮本医局秘書によるキーボード演奏で曲はプーランクの即興曲というクラシックから始めました。

次に毎年お越し頂き素敵な声を披露していただいている末次様に小金沢昇司の“春はもうすぐ”を歌って頂きました。

毎年レパトリーも変わり理事長から“年々うまくなっているのでは”と講評いただきました。

次に、放射線科吉田医師と高校の同級生の皆様による歌とギター、ベースでBEGINの“島人ぬ宝”と中島みゆきの“糸”を演奏して頂きました。40年ぶりとは思えない息の合った演奏でした。同じく同級生の方がミキサーで音量やバランスを調整くださったおかげで非常に聞き取りやすくなっていました。メンバーの皆さんは三日前にも病院に来てくださって音合わせをしていただいています。

（裏面へ続く）





1面より続く



次に山成院長と本田看護師によるデュエットで一青窠の“ハナミズキ”を歌ってもらいました。伴奏は吉田先生のギターです。院長先生は少し恥ずかしそうでしたが一生懸命歌って下さいました。

最後に宮本医局秘書の伴奏で、当院看護師とみなさまで一緒に“七夕”の歌を合唱し、理事長先生の挨拶にて終了といたしました。今年は非常に暑い日となり忙しい時間帯にもかかわらず、来場いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。また、業務の合間に病棟からも患者さんを下ろしてくださった看護師スタッフにも感謝いたします。

アンケートにご協力いただいた方々からは、温かいお言葉と内容へのご意見をいただきました。本当に手作りですやさやかですが、みなさまと共有できる思い出をこれから作っていければいいあと考えています。



講演会お知らせ

赤江公民館にて皮膚科 立山 直先生による講演会を企画いたしました。1時間の講演を予定しています。皆様からのご質問の時間も設けたいと考えています。皮膚科の事で気になる事、どんな先生か話を聞いてみたいなど、ご興味ありましたら是非ご参加下さい。尚、事前申込は不要ですので、当日直接公民館においで下さい。たくさんの皆様のご来場お待ちしております。玄関前のチラシをお持ち帰り下さい。

テーマ:皮膚のできもの

～良い物から悪い物まで～

講師:立山 直

日時:平成29年11月8日(水)

午後2時～3時

場所:赤江公民館

定員:60名(事前申し込み不要)



覗いてみませんか？

皮膚科・エコーセンター近くの壁に川柳コーナーを設けました。テーマは”秋みいつけた”です。皆様も一句いかがでしょうか？



編集局から

講演会、コンサートに来ていただいた皆様ありがとうございました。また、スタッフへと差し入れをしてくださった患者様もおられありがたく頂きました。みなさまと作り上げる会ですので、また機会がありましたらご参加下さい。

コンサートの写真は外科安作先生撮影です。

(文責 石川)